

京都府社会福祉協議会

社会福祉協議会は、

- ・地域における住民組織と公私の社会福祉事業関係者により構成され、
- ・住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指し、
- ・住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施などを行う、
- ・市区町村、都道府県、全国を結ぶ公共性と自主性を有する民間組織です。

京都府社会福祉協議会は、

- ・昭和26年3月に設立され、
- ・京都府など行政や京都府内26の市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人・施設、社会福祉関係団体、ボランティア、府民など幅広い皆さんの参画のもと、
- ・府域での地域福祉の充実、生活・福祉課題の解決や住民の福祉活動への参加を進めながら、様々な事業活動を展開しています。
- ・京都府社会福祉協議会としての共生社会の姿を描き、その実現に向けた取組指針として、第5次中期計画を策定しています。

第5次中期計画（令和2年度～令和6年度）

● 基本理念

「つながりをいかして、だれもが尊厳をもって
いきることができる社会をつくる」

を基本理念として、誰一人取り残さない共生社会を目指します。

● 使命（ミッション）

- ①住みたい地域で、適切な支援が得られ、可能性を広げながら、安心して豊かに生活することができる社会をつくります。
- ②多様な価値観への共感が広がり、思いやりを大切にする福祉のまちをつくります。
- ③府民の声を生かした地域福祉に取り組みます。
- ④福祉・介護・保育で働く人が大切にされ、安心して働くことができる環境を整えます。



所在地 〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地
京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）内
TEL：075-252-6291 / FAX075-252-6310
<http://www.kyoshakyo.or.jp/>



つながりをいかして、尊厳が大切にされる社会へ

何らかのつながりを
もちたいと思う人が、
その人が
希望する
つながりをもつ
ことができる社会

地域や誰かと
つながりのある
生活ができ、
困ったときに
助けてと言う
ことができる社会

誇り
自己肯定感を
もつことができる社会

福祉・介護・保育で
働く人が専門性をもち
自分を大切にして
働くことができる社会

私たちが描く
共生社会

支えられる人も
誰かを支え、
役割をもって
生きている社会

地域住民が自分たちの
思いや意見を反映させた
福祉のまちづくり
を進めている社会

当事者が
課題を発信し、
地域の理解を広めたり、
福祉施策に反映することが
できている社会

自己決定
自己選択が
大切にされている社会



1 福祉の地域づくりを進める

◆ボランティア活動の振興

住民のボランティア活動への参加を促進するとともに活動への助成事業を行っています。また、福祉への理解を進めるために福祉教育を推進しています。

◆絆ネットの推進

地域住民や活動団体、地元商店や企業等をつなぎ、身近な地域での支え合いや見守りの重層的なネットワークづくりを進めています。



◆わかプロジェクト（京都地域福祉創生事業）の推進

社会福祉法人と連携、地域住民・関係者と協働して、地域課題に取り組む事業。子ども食堂や居場所づくりなどの活動を行っています。

2 府民の暮らしを支える

◆生活福祉資金の貸付

生活に困窮した世帯に対して、生活資金や進学費用などを民生委員・児童委員や市区町村社会福祉協議会と連携して貸し付ける事業。



◆地域福祉権利擁護事業の実施

判断能力に不安のある高齢者、障害者等を対象に福祉サービスの利用支援や金銭管理を行う事業。住み慣れた地域での生活を支えています。

◆きょうとフードセンターの運営

企業や団体から寄贈された食材等を子ども食堂や子どもの居場所を支援する団体等につなぐ事業。多くの企業や団体の善意の橋渡しをしています。



3 安心して福祉サービスを受けられる環境づくり

◆福祉サービス苦情解決事業の実施

福祉サービスの利用者や家族から苦情を受け付け、中立的な立場で福祉サービス提供者との橋渡しを行う事業。より良いサービスにつなげるために耳を傾けます。

◆京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構の運営

質の高い福祉サービスの提供を目指した第三者による福祉施設・事業所の運営状況、サービス提供状況等を評価する事業。



4 福祉人材の確保・研修・定着

◆福祉人材の確保

祉職を目指す求職者と事業所をマッチング。無料職業紹介所を設置し、就職フェアなどのイベントを開催。福祉職場で新たに就業する方への貸付も行っています。

◆福祉職向けの研修

福祉施設、市町村社協の役職員を対象とした研修や介護・障害分野の資格研修の実施や資格取得を目指す方への貸付も行っています。

◆京都府外国人介護人材支援センターの運営

外国人介護人材の受け入れを円滑に進めるため、外国人の方、受入れ事業所の双方を支援。相談窓口の設置、交流会・研修会等を開催しています。



5 災害時の助け合い活動を支える

◆京都府災害ボランティアセンターの運営

公民協働・常設の災害ボランティアセンター。災害時に効果的な救援活動ができるように平常時から訓練、研修などを行っています。



◆京都府災害派遣福祉チーム（京都 DWAT）の派遣

高齢者や障害者など災害時に配慮が必要な方を支援する福祉職で結成されたチーム。災害時に避難所に派遣され、福祉的な視点で寄り添います。

6 市町村社会福祉協議会や社会福祉法人等の活動・経営支援と連携

市町村社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設の活動・経営支援や連携のため、調査、企画・調整、研修、助成、施設整備のための貸付などの取り組みを行っています。

7 福祉の情報発信・調査研究・提言

福祉を取り巻く情勢、福祉の価値や魅力、活動状況を発信します。地域の福祉課題を調査研究し、関係機関とともに課題解決に向けた方策を企画・提言します。

